

待 陵 通 信

第 8 号

平成 23 年 10 月 7 日
(敬称略)

①訃報 平成 23 年 9 月 7 日以降に判明した方々 謹んでご冥福をお祈り致します。

10 文乙	角田豊太郎	平成 23 年 8 月 31 日	池田市
12 文乙	岩本 俊雄	平成 23 年 9 月 23 日	高槻市
12 文乙	太田 武男	平成 22 年 5 月 7 日	京都市
13 理甲	櫛原 四郎	平成 23 年 9 月 11 日	神戸市垂水区

②住居変更 届け出なし

③午餐会

*第 485 回午餐会 23 年 9 月 7 日 (水) 正午～14 時

於 中央電気倶楽部 317 号室

講師 大阪大学大学院教授 小矢野 哲夫 先生

テーマ:「日本語の現状ーゆれ」

出席者 22 名

④寮歌祭

*第 23 回平城寮歌祭 23 年 9 月 17 日 (土) 12 時～16 時

於 県立新公会堂

参加者 (奈良) 20 文甲 吉川義俊夫妻・20 理 1 土橋幸雄・21 文乙 村田正孝夫妻

(東京) 21 文甲 2 田中昂・(四日市) 21 文甲 2 渡辺祐吉夫妻

(大阪) 17 理甲 1 栗野正之・19 理甲 1 津田泰男

(芦屋) 21 理 2 藤井文子 (豊三夫人)

以上 11 名

⑤支部だより

*奈良支部 平城寮歌祭 (④参照)

⑥同期同級交歓

*21 回生第 84 回三木会 23 年 9 月 15 日 (木)

於 大阪第一ホテル 6 F ランスロット

話題提供 21 理 1 仲尾次政浩 「花房秀三郎君の思い出ほか」

出席者 文甲 1 颯川・真銅 文甲 2 茅野・竹内 (東京) 文乙 今井・富田・村田

理 1 生島・小谷・仲尾次・山田 理 2 島・武田・田中義・前田

理 3 後藤・玉井 理 4 川島・西村 以上 19 名

講話の後ウクレレの伴奏で花房君愛唱の「六甲おろし」「同期の桜」「浪速の友に」を
斉唱して散会。

⑦運動部・同好会だより

*待兼山俳句会 (第 499 回) 23 年 9 月 12 日 (月) 於 大阪倶楽部 会議室

出席者 林直入・上田元彦・片岡京子・佐伯箕川・佐伯道子・阪本ゆたか・瀬戸幹三・

鈴木輝子・鈴木敏夫・鶴岡言成・寺岡翠・西村浩風・根来真知子・東中乱・

東野太美子・三宅洛艸・森茉衣・山戸暁子

以上 18 名

投句者 有馬健馬・川崎香月・斉藤義雄・田中嵐耕・中村和江・平井瑛三

以上 6 名

計 24 名

兼 題 衣被・宵闇 (直入) 蛇穴に入る・萩 (あや)

卓上に枝豆

選者吟	衣被あつさり衣を脱ぎにけり 宵闇や呑みに行きたくなる時間 宵闇の温泉の町歩く下駄の音 宵闇や思ひ鎮めし山河あり 思ひ出のするりとうまき衣被 目つむれば月さし込める胸の底	直入 あや
林 直入特選	家計簿にかなかな鳴くと記しけり 宵闇や誘ふやうに屋台の灯 幾度も叩かれてゐる西瓜かな 門入れば萩の大波迫り来ぬ 湯気あがるままに供へし衣被	幹三 洛艸 幹三 暁子 洛艸
長山あや特選	かなかなや蕪村遺愛の硯箱 生の酒と赤穂の塩と衣被 門前の斑入りすゝきを起しけり 山萩の小さし咲きてもこぼれても 衣被かすかに残す土の味 湯気あがるままに供へし衣被 宵闇に阿蘇の五岳の黙深し	京子 幹三 箕川 輝子 乱 洛艸 太美子

★ご案内 同窓会のホームページができましたのでご覧下さい。

<http://www.osaka-u.ac.jp/namikou/>